

社会も明るくする運動

(1) まいめ

二つのニュースから感じたこと

清水台小学校 六年 大宮 希一

この夏、二つのニュースがぼくの耳に飛び込んできた。一つは、日本大学のアメリカンフットボール部の部員が違法薬物を所持した疑いでたい捕された事件である。もう一つは愛知県の小学校の先生が、コカインの原料となるコカの葉を海外から持ち込み、授業で子ども達に紹介した事件だ。どちらのニュースも麻薬に関する事件だった。

六年生になった、学校の授業で薬物について学んだばかりだったため、ニュースを見てどうしてこんなことをしてしまっているんだろう不思議に思った。なぜなら、薬物はほんとにも恐い物だと習ったからだ。

薬物には、身体の成長を止めてしまう成分が入っている。頭もおかしくなると先生が話していた。依存性もあって、やめたくてもやめられないようにできていくらしい。このこ

とを聞いて、ぼくは、絶対にやりたくない
 強く感じた。
 では、どうして薬物を使ってしまうのだろ
 うか。その理由の一つに、薬物を使うと、一
 時的にも、のすごく楽しくなれる成分が入っ
 ているからだ。
 さて、日本大学のアメリカンフットボ
 ル部の人達は、そのゆうわくに負けてしま
 ったのかもしれない。
 あるテレビ番組では、麻薬の売り人のこ
 とを取り上げていた。麻薬は、とても高い値
 段なことに、おどろいた。でも、その高い金額
 を払ってでも買う人達がいることも、すさま
 じいと思った。
 今まで知らなかった薬物に関することが、
 授業で習ったことで、どんなに危険なことな
 のかわかるようになった。
 違法薬物の所持や使用は犯罪だ。どんな理
 由があっても、ダメなものにはダメだし、危
 険なことには近づきたくない。

だから、子ども達を麻薬に近づけた愛知県
の小学校の先生は、恐い、いけないと思う。
違法薬物に近づがないために、ぼくがで
きことを考えてみた。
一つ目は、大人の目が届かない危険な所
はいかないことだ。例えばゲームセン
ターや大の気配がない運送物、夜道などだ。
二つ目は、インターネットの使い方である
SNSで知らない人とはつながらないこと
を守っていく。

三つ目は、違法薬物を絶対に近づけない強
い気持ちをもつことだ。薬物の恐さを知
っているからこそ、自分自身だけいなく、周
りの友達や知り合いにも教えてあげたい。
絶対に、近づがない。

日本大学のアメリカンフットボール部の
員も、愛知県の小学校の先生も、やらな
ければ、たと後悔しているだろう。せ
く大学に入っ、部活をがんばっ、ていたの
に、部活ができなくなっ、てしまった。
先生も、やめ

させられてしまった。全国ニ
送られて、家族もと悲しんで
ぼくは、悲しい思いをいた
も悲しい思いをさせたくない。
これから、大好きなみなと
明るく元気に過ごしていきたい。